

文明法則史学より

30年前から今日の混乱期突入を予想
長く続いた西洋金融資本の終焉
2020は世界的な価値観転換の年

コロナはそのきっかけを作っただけ
コロナが収まっても元には戻らない

新しい価値観, 仕組みを今こそ準備
環境を創造できたビジネスのみが生き残る！

秀島 誠一



- ● ●
● どんな人生でも輝きがある
愛を施し、愛に包まれた感涙の瞬間
- その、人生の営みを
記憶と記録に留めよう
- ずっと先のまだ見ぬ後世との
新しい命との出会いからも
始まる尊厳の歴史を育む共奏ストーリー





葬儀業界御中

従来の業界常識から
次元超え脱皮
葬儀社だからこそ打ち出せる
生きるための新SNS・社会政策モデル

電子個性通価プロジェクト
(電子個性は国内特許取得済)
プロデューサー 秀島誠一





- 至極の最期を迎えるため

- 生きざまの軌跡、尊厳の印を刻もう！

そして

未知なる後世との新たな出逢いと

新たな歴史の創造に参画しよう！



● ● ●

人生の折り返しを節目に
個性と個性を繋ぐBtoCtoC
支え愛の見える化、称賛コミュニティ&メディア

現世の愛の行動の軌跡
「活き様の見える化」と「人生の尊厳」を
永遠に称え後世に語りつごう！

三次元とあの世との通心モデル
繋がる感動と魂よ永遠に！



直葬時代の葬儀社の生き残り策

従来→人生を死ぬ迄生きる



今日から
死の為に生きる
そして
次の次元に生きる為に
笑顔で死ぬ

<<ターゲット>>

死を予感した人
及び家族



人生を
折り返した
全ての人



提供する価値

- 人生折り返しから肉体が朽ち果てる迄の生き生き人生環境
- 繋がり、支え愛に活きた人生の歴史をデジタルに残し
子孫、後世へ伝承。未来の人々の記憶の中に永遠に生きる。

結果

- 1、新互助会会員が激増する(1年で3倍～)
- 2、新互助会会員が友人知人を喜んで集めてくれる
- 3、新規サービスの提供で新しい収益の柱確保
- 4、異業種業界から顧客の紹介、商材の共有(客単価UP!)





施策、手法

オンラインサロンの導入BtoC

生き生き人生支え愛の

電子個性通価コミュニティCtoC

(電子個性は登録商標、国内特許取得済)

施設での支え愛のリアルコミュニティイベント開催



助け、活かし、育み、励まし、支え愛を通じて
称賛文化を日本から世界へ広げていく
感動のコミュニティ通価システム
教育、経済、政治転換メディア

アマゾンにて初版電子書籍公開中！

成熟する国家に求められる
下山の経済
明日を豊かに生きる人類の
心と智慧。

共助社会を個性で拓く日本発SNSの未来

電子個性通貨(通価)

っていいね!



活かし愛
助け愛
あなたの個性
あふれる
価値と笑顔
育み愛
励まし愛

●デジログ実践家/秀島誠一●

これはマーケティングの
枠を遥かに超えた
人類のテーマであり
新しい共通言語だ！



全ての業種に通用する心の時代の デジログなマーケティング政策



●著者紹介●

デジログ実践家
秀島 誠一
福岡県大牟田市出身
現在福岡市在住
大昔ミュージシャン、
昔ウインドサーファー、
いまデジログ実践家！

目次

●はじめに

- 1章 電子個性通価とは？
- 2章 電子個性通価への道標
- 3章 電子個性通価の3つの目的と特徴
- 4章 電子個性通価の現状と構築までの道程
- 5章 社会起業家(エリアコーディネーター)さまへ
- 6章 企業関係者さまへ
- 7章 キャラクターや特産物と通貨のコラボ作戦
- 8章 業界別電子個性通価戦略的活用法
- 9章 電子個性通価が拓く明るい社会
- 10章 日本のソフトパワーとリーダーシップによる世界平和と人類マインドの進化
- 11章 電子個性通価の履歴は時代を超えて心を繋ぎ歴史を司る
- 12章 電子個性通価まとめ
- 13章 140文字に込める 電子個性通価Twitter語録
- 14章 応援寄稿を頂きありがとうございます
- 15章 電子個性とは何か？電子個性通価との関係について

●終わりに



アマゾン kindle 版 <http://amazon.co.jp> から電子個性で検索

助け合いの行動が預貯金同様に数値で示されていく

これを解決するために、筆者の友人である秀島誠一さんは「電子個性通価」というものを提唱されています。簡単に言うと、助けたり助けられたりしたときに通価（ポイント）がカウントされ、それによって助け合いの行動が預貯金同様に数値で示されていくというシステムです。通価ポイントが「貯金」されていけば、それを使って人から助けて貰うことが出来ます。決していけばいいことです。

山助けて貰って「貯金」を使い果たせば、今度は「借金」が溜まっていきます。でも、「借金」は人から助けて貰えたことの証であり、それだけ人望があることを示しています。それは、むしろ誇りであると考えられ、溜まった「借金」は、これから人の役に立つことでお返し（返済）していけばいいことです。

この通価システムによって、今まで義務や世間体でやってきた事が、そうすることで実際に幸せになっていく事実を体験することになります。硬直化した義務感から解放され、役立ち合いに楽しく積極的に取り組めることになるはずで、人に喜ばれることで自分も嬉しくなるといふ、自利・利他一体の次元に意識が高まるわけです。

そうして、真心や慈悲心のある人が増え、同じ意識レベルの仲間が繋がっていけば、やがて奪い合いや潰し合いの通用しない公益互惠社会が生まれることになるでしょう。理想と思われるかも知れませんが、江戸時代末期にやってきた西欧人が見た日本は、まさに公益互惠を基本とする聖人たちのムラであり、礼節謙讓に生きる君子のクニそのものでした。この通価ポイントの記録は、人生の「履歴」でもあるとのこと。

東洋的英知の研究

力を抜けば 強くなる

綜観

林 英臣

Hayashi Hideomi

老子に学ぶ
柔らかな生き方

博進堂



電子個性通価

β 版公開中！

「電子個性」は国内特許取得済

具体的な資料は別にあります！
必要であればご一報ください。
hide@shien-p.com

